

あなたの「ホッと一息」をお手伝い

『ふくまこ』

～ふくしま心のケアセンター 県中・県南方部だより～



県中・県南方部センターのご紹介

今年度（平成27年度）の第1号目ということで、あらためまして、ふくしま心のケアセンターの活動について、ご紹介させていただきます。

～ふくしま心のケアセンターについて～

私ども『ふくしま心のケアセンター』は福島県より事業委託を受けた「一般社団法人 福島県精神保健福祉協会」が、設置・運営する機関です。



県北方部、県中・県南方部、会津方部、いわき方部、相馬方部という5つの方部で、看護師や保健師、精神保健福祉士や作業療法士、社会福祉士、臨床心理士といった様々な専門の職員がその専門性を活かし、避難元市町村や関係機関と連携しながら、お一人おひとりの状況に合わせて、ご相談に応じております。

～県中・県南方部センターについて～

平成27年度よりそれまでの県中方部と県南方部の両センターが統合され、『県中・県南方部センター』として生まれ変わりました。スタッフは総勢12名で、活動範囲は以下の地図の赤と青のラインで囲んだエリアとなります。

被災された方々への戸別訪問や集団活動への支援のほか、自治体保健師さんらと連携し市民講座・研修会を開催したり、また被災市町村の職員さんを主な対象とした支援者支援活動などをおこなっております。

わずか12名という限られたスタッフではありますが、被災された方々ならびにそうした方々を支援にあたられている方々の心身の健康や生活の安定をめざし、東奔西走、日々活動を行っております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

活動のご紹介：男遊クラブ

相双地域から県南地域に避難されている男性の方ならどなたでも！今からでも！

入会できる「男遊クラブ」をご紹介します。

「男遊クラブ」はつながることでお互いに刺激しあい、元気になることを目的に結成されました。毎回、体を動かしたり、頭を使ったり、バラエティに富んだ活動を行います。

第1回（4月15日）は、17名の方が参加され、「開講式」の後、皆でお花見弁当を作り、近くの公園で満開の桜の下、ゆったり、のんびり、会食を楽しみました。今後の活動は、5月20日は「体力測定」、6月17日は「歯周疾患の予防について」の学習と「陶芸体験」、7月15日は「福島県の食生活の特徴」について考えます。

「男遊クラブ」は避難元市町村、県南保健福祉事務所、ふくしま心のケアセンターによる“チーム「おやし応援隊」”が支援しています。“チーム「おやし応援隊」”は、からだところの専門職と生活を支える生活支援相談員、復興支援員で構成されています。さらに、その日の内容に合わせて福島県栄養士会等、地域の皆様にもご協力をいただいております。何より「男遊クラブ」は参加しているメンバーが素敵な個性派ぞろい。楽しいですよ!!

奮ってご参加ください!!

会場：白河市産業プラザ（白河人材育成センター） 白河市中田 140 番地

日時：毎月第3水曜日 10:00～12:00

参加申し込み：避難元市町村保健福祉担当者 または

ふくしま心のケアセンター県中・県南方部センター（担当：宮澤、岩沢）まで



新入職員紹介

平成27年4月より『県中・県南方部センター』として新体制で活動しておりますが、この場をお借りしまして新しいスタッフをご紹介します。今回は趣向を変えて『他己紹介』として、他のスタッフから新スタッフの紹介をいたします。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします！（以下、50音順です）



■泉真実子さん■（事務員）→紹介者は県中・県南方部より田崎さん

20代の事務員さんで、出身はいわき市です。趣味はカメラ、特技は絵を描くことで、今回の職員のイラストを泉さんが描いてくれました。

3月末まではいわき方で事務員をしており、4月より県中・県南方部に配属されました。業務内容は事務関係で日々沢山の事務仕事を頑張ってくれています。これから県中・県南方部で専門員の仕事を支えてくれる事を大変期待をしております。

■仲摩昇さん■（精神保健福祉士）→紹介者は県中・県南方部より相良さん

南国の地、宮崎県から3月末に郡山市に来てくれました。小麦色の肌がさわやかな印象の仲摩さんです。職種は精神保健福祉士です。宮崎では精神科病院に22年勤務され、精神科医療を豊富に経験されています。趣味は映画鑑賞や温泉とサウナに入ることだそうです。福島県に来てまだ、1か月ですが、仮設、借り上げ住宅の訪問やサロン活動などバリバリと仕事をこなす姿が見えて、大変心強い存在です。これからの活躍を期待しています。



■服部徳子さん■（保健師）→紹介者は旧県南方部からの同僚の宮澤さん

（旧）県南方部センターから県中・県南方部センターに配属になりました。職種は保健師さん。以前から白河地域で活躍されておりました。「心と身体は一体!!」が支援の信条です。バランスボールを用いたユーモアあふれる体操指導（「水戸黄門」の主題歌を使ったりします。）にはファンが多いです。会場が笑いでいっぱいになります。

■宮澤賢次さん■（精神保健福祉士）→紹介者は同じ精神保健福祉士の安藤さん

「雨二モマケテ 風二モマケル 宮澤賢次です」と自己紹介する宮澤さん。ワーカー歴は本人いわく「記憶にございません」…ケアセンター歴は2年ながらすでに県北、会津、県南を制覇！しなやかな身体とあたたかな心の持ち主で、静かななかにも好奇心と情熱があふれています。先日はあるリーフレットに載っていた「サルコペニア」にすばやく反応し、さっそくスマホでチェック。ワーカー魂は健在！ところでみなさんは「サルコペニア」をご存じですか？知らない人は宮澤さんまで。



編集後記

県のホームページを参照しますと、県中・県南地域は4市10町7村、面積は県全体のおよそ26%、さらに人口は県全体のおよそ35%を占めるそうです。あらためて自分たちの活動範囲の広さにただただ驚くばかりです…。(以和)

●発行元

一般社団法人 福島県精神保健福祉協会
ふくしま心のケアセンター
県中・県南方部センター

〒963-8024

福島県郡山市西ノ内1丁目3-24

成和ビル1階

Tel 024-983-0274

Fax 024-983-0276

<http://kokoro-fukushima.org/>



【お問い合わせ先】

被災された方々やその
支援をされている方々
からのご相談

被災者相談ダイヤル“ふくここライン”
TEL 024-531-6522

平日 9:00~12:00、13:00~17:00

その他の
お問い合わせ

ふくしま心のケアセンター 基幹センター
TEL 024-535-8639 FAX 024-534-9917

〒960-8012 福島市御山町 8-30

(県保健衛生合同庁舎5階)